

『イタイイタイ病映像展』を開催しました。

1月27日（火）から29日（木）まで富山市民プラザ2階アトリウムにて『イタイイタイ病映像展』を開催しました。天候には恵まれませんでしたが、中心市街地での開催ということもあり、多くの方にご来場いただきました。

この映像展は、イタイイタイ病の最初の患者発生から約百年が経過し、時間の経過とともにこの公害の恐ろしさを知る人、その克服の歴史を語ることができる人が減っていく状況の中で、イタイイタイ病被害の風化防止を目的とした取組みの一つとして開催しているもので、今回で3回目となります。

映像展では、患者家族や被害者団体役員、弁護士等、多くの関係者の証言映像21本を順次上映した外、被害者団体より寄贈いただいた写真パネルを展示しました。来場者の中には、当時婦中町に住み、地元の被害を振り返りながら再確認している方やメモを取りながら真剣に視聴されている方の姿も見受けられました。来場者の方々は、証言映像から、当時の患者やその家族、被害者団体等の関係者の被害克服までの苦労やその想いの一端を強く心に感じる事ができたのではないのでしょうか。イタイイタイ病は、川や農地の汚染により豊かな自然環境を破壊し、多くの患者やその家族を苦しめました。二度と悲惨な公害を引き起こしてはならない決意をあらためて確認する機会となりました。



会場内の様子

